



国際ロータリー第2630地区 岐阜 Aグループ  
岐阜中ロータリークラブ

# Weekly Report

2020-21 RIテーマ  
ロータリーは機会の扉を開く

クラブスローガン  
伝統的日本ロータリーの文化を尊重  
しつつ、新たな試みを果敢に実行する

令和3年6月15日(火)  
第1382回例会 第1296号

会長 三宅裕樹  
幹事 篠田たつ彥  
発行 公共イメージ委員会  
例会 火曜日 12時30分  
会場 都ホテル 岐阜長良川  
事務局 岐阜市神田町2-2  
電話 058-264-9235

**必達！！第1例会出席率100%**

**必達！！年間例会出席率90%**

## 会長挨拶

会長 三宅裕樹

今回は、「どうして日本はロックダウンしないのか？」という話です。感染防止対策として欧米では、国民の権利を強かに制限する「ロックダウン」が実施されていました。これは、原則外出禁止（罰則あり）で、商店も休業を余儀なくされます。感染防止には効果があるかと思いますが、国民生活は大きく制限されます。片や日本では、緊急事態宣言は出ますが、罰則を伴うロックダウンはありません。この差の原因は、憲法の規定によるものがあります。数多くの国の憲法には、「緊急事態条項」という条項が備えられています。要するに、国家の存続が危ぶまれるような緊急事態が発生した場合は、憲法の機能を停止できる。といった「超法規的」な条項です。多くは戦争や、クーデター等の事態に備えるものですが、今回のコロナ禍でもこれを適用し、ロックダウンを実施しました。ところが、日本国憲法には「緊急事態条項」がありません。これについては、日本国憲法の重大な欠点だと指摘する学者や、そんなもの明文化され

てなくても本来備わっているなど様々な憲法学者の意見があるようです。

それでは戦前の「大日本帝国憲法」を調べてみると、緊急事態条項は整備されていました。現在の改憲論議の中で「緊急事態条項」を盛り込むべきという意見は多くありますが、一部の野党は大反対であります。しかし、諸外国が憲法に「緊急事態条項」を整備し運用しているのが世界の常識だと思います。私とて「緊急事態条項」は適用されないことを願いますが、憲法アップデートの議論を封殺し、闇雲に反対を唱えるだけでは「日本人は平和ボケ」と言われても致し方ない気がします。



岐阜都ホテル長良川様にお礼



卓話 辻正様

## 友情と奉仕の灯を

### スマイルボックス委員会

安藤元一君

辻様、本日はまん防の中にもかかわらず、卓話にお越しいただきありがとうございます。

故金正司君

本日はよろしく願いいたします。

三宅裕樹君

辻会長、本日はよろしく願いいたします。

森 益男君

辻正様、ようこそ岐阜中ロータリークラブへ！本日の卓話よろしく願いいたします。

吉田茂生君

辻様、父親が生前お世話になりました。

★結婚記念日おめでとうございます★

秋保賢一君

結婚33年目です。すみませんが、円満です。

## 前例会の記録

第1381回

2021年6月1日(火)

[点鐘] 12時30分

[ソング] 君が代 奉仕の理想

[ゲスト] 株式会社インフォファーム  
会長 辻正様

[ビジター]

[出席] 会員総数29名(出席免除 5名)

本日出席17名 70.83%

[行事] 卓話『聖火ランナーの思い出』

株式会社インフォファーム

会長 辻正様

担当 職業奉仕委員会

## 次回予定

第1383回

2021年6月22日(火)

[点鐘] 18時30分

[行事] 最終夜間例会

担当 親睦委員会